

特集
01



ジャンボフェリー

神戸～小豆島～高松に 新船「あおい」就航

2022年10月22日神戸三宮フェリーターミナル発



神戸～小豆島～高松航路を運航するジャンボフェリー株式会社(山神正義社長、本社・神戸市中央区)の32年ぶりとなる新船「あおい」が、10月22日(土)に就航します。第1便は神戸三宮フェリーターミナルを8:30に出航、小豆島11:40着、高松13:10着となります。

新船は現行フェリー2隻のうち「こんびら2」(約3,700総トン)の代替船で、近年の貨物の海上輸送と旅客の両ニーズの高まりを受け、船体を約5,200総トンと約1.4倍へ大型化。輸送力が強化され、安全性と省エネ性もより向上しています。客室は「瀬戸内海に浮かぶテラスリゾート」をコンセプトに4つの心地良いテラスや、多彩な個室、リクライニング席などを充実させており、リゾート感あふれる船旅を味わえそうです。



2022年5月28日に行われた新船「あおい」の進水式

船体デザイン

きらめく海原を進む白い船体。紺碧のゆるやかな曲線が映えます。穏やかな瀬戸内海をイメージしたデザインで、船首、ファンネル(煙突)、船尾にはそれぞれ「七、五、三」本の吉数の縞模様。海を通して深められた人と文化の交流を「しま」で表しています。

船名の由来

「碧い海、蒼い空、青い風」。瀬戸内海の色をイメージして名付けられました。当社が所属する加藤汽船グループの戦後復興を支えた貨物船「葵丸」への思いも込められています。

新船「あおい」はこんな船

新船「あおい」主要諸元

総トン数 約5,200トン
全長・全幅 約132×21m
航海速力 18.6ノット
積載能力 大型車84台
旅客定員 620名



5つの特徴

- 1 輸送力と快適性の向上**
船体は現航船より約1.4倍に、輸送力は約3割アップ。客室スペースも拡大。
- 2 燃費の大幅な向上**
日本初となる、浅喫水・全面無柱フルフラット甲板対応型の2サイクル1機1軸推進システム、高速離着岸デバイスなどのパッケージ化により、大幅な燃費向上を実現。
- 3 安全性の向上**
新世代の損傷時復原性基準に完全適合。
- 4 感染防止対策の強化**
高い換気能力、深紫外線(UV-C)殺菌デバイスを備えた空調システムを業界で初めて導入。さらに個室や半個室タイプの客席を充実。
- 5 大規模災害時の対応**
神戸市、香川県小豆島町と協力協定を結び、災害時に負傷者や避難者を被災地から避難地へフェリーで搬送する「災害時支援船」としての役割を担う予定。そのため、ストレッチャー搬送できる大型エレベータを整備。

神戸港の発展に欠かせない 内航フィーダーとしても活躍

「ジャンボフェリー」は1969年11月、神戸～高松間で運航を開始する。1995年の阪神淡路大震災では自らも被災する中、浴室を被災住民に開放し、「お風呂シップ」としても活躍する。2003年からはジャンボフェリーの航路運営を加藤汽船(株)から現ジャンボフェリー(株)に移管。1996年から始めた無人車貨物航送は年間約6万 TEUにも上り、国際コンテナ戦略港湾に指定された阪神港(神戸港・大阪港)から地方港へと貨物輸送を行う内航フィーダーとして、神戸港の発展に欠かせない役割を担っています。



4つの絶景テラス



光のテラス (プレミア席専用)

操舵室の真上にあり、右舷の外にせり出した構造。周囲にはガラス手すりもあり、海原を見晴らす光景は圧巻。



空のテラス

最上部となる天然ウツドの屋上テラス。半円形のスマイルステージからの「明石大橋くぐり」はスペシャルな体験に。芝生広場も。



風のテラス (プレミア席専用)

船体最先端のデッキからは、風を切り、スピーディーに進む船との一体感を楽しめます。



船体イラスト 鳥瞰図絵師 青山大介



海のテラス (プレミア席専用)

船体からせり出したデッキには、ホワイトイオン泉の足湯を設置。床に強化ガラス窓もあり、下をのぞくと迫力満点。

快適空間で くつろぎの船旅を

船内は、寄港地の一つ、小豆島を象徴する「オリーブ」「醤(ひしお)」「石」「棚田」の4つをデザインモチーフに取り入れた、遊び心のある空間。

プレミアム席、自由席、ペット専用、大型ドライバー専用の4エリアがあり、「QRゲート」で各エリアの入退場がスムーズにできます。



棚田のロビー

船に乗り込むと、客室2階中央の吹き抜けエントランスホール「棚田のロビー」へ。ピアノが奏でる調べに包まれます。



醤のロビー



石の遊び場



ふねビッピ

①「棚田のロビー」から階段を上った3階中央には、醤油樽をモチーフとしたベンチが並ぶ「醤のロビー」。屋上までの吹き抜けが開放感たっぷり。
②2階中央にはキッズスペース「石の遊び場」も。
③名物のうどんコーナー「ふねビッピ」も2階中央に。「ビッピ」とは讃岐弁でうどんのこと。オリジナルうどんをはじめ、小豆島の人気ジェラート店や島唯一の酒蔵の商品、讃岐名物のあんかけ雑煮(季節限定)も。

プレミアム席専用エリア



コンフォートリクライニング席

2階前方の「プレミアム席エリア」には、体圧を分散してシート全体で支えるゆりかご式チルト機構を備えたリクライニング席を、国内フェリーで初導入。一人掛け独立タイプで、隣席との間隔は25cm以上。



雲の湯

船体からせり出した構造の湯船があるプレミアム専用風呂「雲の湯」。湯船には乳白色のホワイトイオン泉が用いられ、約20ミクロンの微細気泡でリラックス。



コンパートメント (3人)

2階前方右舷側には半個室の「コンパートメント(3人)」を設置。リクライニング席を3席ずつ配置、ガラスウォールで仕切られています。



キャプテンシート

2階前方のエリア最前列の共用シート「キャプテンシート」。操舵室と同じ逆傾斜、フレームレス構造の前面ガラスから望めるパノラマビューを船長気分。



サニーサイド

2階前方左舷側にあるエリア内共用のラウンジ「サニーサイド」。4人掛けのテーブル席がしつらえてあり、ワイドガラスから瀬戸内の島々と朝日や夕日との共演を望めます。



ボックス席 (6人)

2階後方左舷側、靴を脱いでくつろげる靴下エリアには、6人掛けのソファ席などを配置した「ボックス席(6人)」。



のびのびバルコニー個室

3階中央左舷側の「のびのびバルコニー個室」には、ガラスの手すり、天然ウッドデッキの専用バルコニーを設置。室内はカーペット敷きの「のびのびシート」で、遠赤外線床暖房「ヒートプラス」を採用。寒い季節もほかほかです。



のびのび席 ANNEX

一人ずつ専用スペースを確保した畳敷きの「のびのび席」。遠赤外線床暖房システム「ヒートプラス」を国内フェリーで初めて採用。一般用、女性用、団体用に分けられています。

自由席エリア



のびのび席とソファ席

2階後方左舷側の<自由席エリア>には、畳敷きの「のびのび席」と、グループで過ごせる「ソファ席」があります。

ペット専用エリア



もふもふラウンジ

2階中央右舷側には、<ペット専用エリア>があり、ペットと一緒に過ごせるガラスバルコニー付きのペットラウンジ「もふもふラウンジ」(無料)も。ペットゲージ(有料)を使えば、専用エリアを離れることもできます。(※ペットの持ち出しはできません)。



ペット個室

<ペット専用エリア>には、ペットとともに過ごせる個室「ウイズペット個室」(定員2名、有料)も。ベッド上段は超高性能繊維構造体プレスエアを使用したマットレス、下段の畳は遠赤外線床暖房ヒートプラスを内蔵。

ジャンボフェリー流 船旅のおすすめ

船旅の魅力



神戸市垂水区と淡路島に架かる、世界有数の巨大な吊橋、明石海峡大橋(全長3,911m)。パールブリッジとの愛称を持つほど優美な姿から、近づくにつれて堅牢な姿へ。その下をくぐるときの大迫力！ 昼間、さえぎるもののない展望デッキからの眺めは絶景です。

※夜便は、安全のため、展望デッキへの立ち入りができません。

ジャンボフェリー名物グルメのさぬきうどん。新たに若手社員によって開発されたオリジナルメニューも。「船内で食べたうどんを思い出のひとつに」そんな思いをこめました。



島ゴマうどん(440円)

小豆島の土庄町に漂うゴマのいい香りが開発のきっかけ。日本のゴマ油のシェアトップであるかどや製油株の工場がある小豆島はゴマが有名です。

さぬきレモンうどん(440円)

香川県産100%の国産レモンをうどんにのせました。仕上げに回しかけているオリーブオイルは、小豆島の樹菊水屋から仕入れられています。

この秋も見どころたっぷり



寒霞溪

小豆島のほぼ中央にある寒霞溪は、瀬戸内海を見晴らし、奇岩や崖地が織りなす四季折々の表情を楽しめる景勝地。日本三大溪谷美の一つと称されます。

寒霞溪ロープウェイの往復乗車料金が約20%OFFとなるお得なセット券もあります。

瀬戸内国際芸術祭2022

現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2022」が、11月6日まで開催中です。瀬戸内の島々を中心に香川県、岡山県の各地で美術作品が展示され、アーティストや劇団などによるイベントも行われています。



この秋、新船「あおい」がデビューします。「瀬戸内海に浮かぶテラスリゾート」をコンセプトに、様々な客室をご用意してお客様のお越しをお待ちしております。私がおススメしたいのは、コンフォートリクライニング席です。とっても快適で乗り心地は抜群ですよ！その他にも紹介しきれないほど沢山の魅力が詰まっています。実際にご乗船いただき、新しくなったジャンボフェリー「あおい」を是非ご体感ください。

総務企画部リーダー 村上幸次朗

「QRスマート乗船システム」を導入、改札だけでなく、各エリアや個室の入退室もスマートフォンでOK。

問い合わせ ジャンボフェリー株式会社

電話 078-811-6688 (9:00~18:00)

公式サイト <https://ferry.co.jp/>

新船情報 <https://ferry.co.jp/home/ship/newship/>



宮崎カーフェリー

神戸～宮崎航路に 新船「フェリーろっこう」就航

2022年10月4日神戸港より出航

神戸～宮崎航路を運航する宮崎カーフェリー株式会社(郡司行敏社長、本社・宮崎市)は、今年4月15日に新船「フェリーたかちほ」を就航し、新たに10月4日に新船「フェリーろっこう」が就航しました。

新船は2隻とも基本スペックはほぼ同じで、現行船からの大型化による輸送力の強化、旅客の多様な船旅のニーズに対応する客室を充実させています。

一隻目は宮崎らしさ、二隻目は神戸らしさが感じられる船名がつけられ、船体に刻む船名は、共に成長できる未来へ願いを込め、それぞれ宮崎県を代表する高校生が揮毫しています。



出航式 油井神戸副市長あいさつ



出航式 「米田あゆJAZZバンド」によるジャズ演奏



新船「フェリーろっこう」概要

全長	194m【現行170m】
全幅	27.6m【現行27m】
総トン数	14,006トン【現行11,931トン】
トラック積載台数	163台【現行130台】
乗用車積載台数	81台【現行85台】
旅客定員	576名【現行690名】
個室数	106室【現行29室】

「神戸」をイメージした船内は 楽しみ方広がる快適空間



エスカレーター

船内は、北野異人館街など、神戸の街並みをイメージしたクラシカルでシックなカラーを基調に、神戸のイメージデザイン「神戸タータン」や、洋館の窓を思わせるパーテーションをアクセントに取り入れたデザインです。



イベントラウンジ



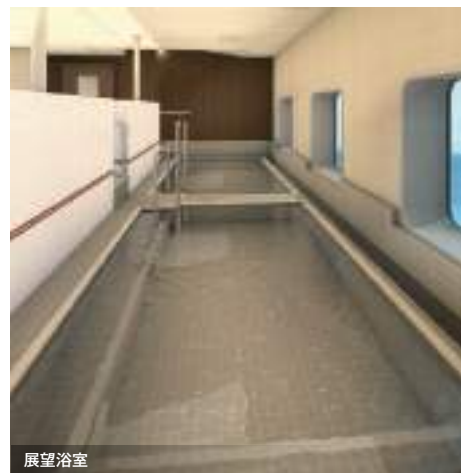
プレミアム ツイン (定員2～3名)

最上級のプレミアムルーム。ツインとバリアフリーの客室は、エキストラベッドを備え付けており、3名でも利用が可能です。ほかに車椅子での移動を考慮したレイアウトで、段差をなくし手摺りも付けるなど、バリアフリーに対応したバリアフリールームも新設されました。



ファースト フォース (定員4名)

最大4名で利用できるファーストルーム。ご家族やグループでゆっくり楽しめそうです。ベッドと一緒に過ごせるウイズベトルームも新設。室内にゲージも用意されています。



展望浴室

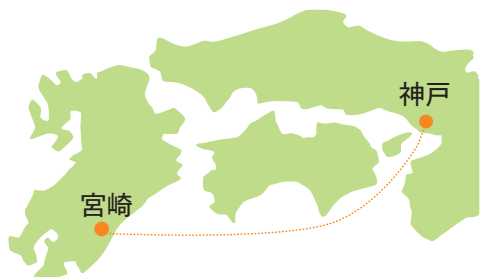
景色を眺めながらリラックスできる展望浴室



宮崎カーフェリー関西支店長 細川修一さん作製の 宮崎カーフェリー模型

作者からのひとこと

フェリーろっこうの就航に間に合うよう作製いたしました。1ヶ月半かけて本物？より先に完成しました。タイソウのプチブロック約700袋を使い、150分の1のスケールで組み立てています。全長113cm、全幅16cm、総トン？数9000gとなっております。スクリューは動きませんがフィンスタビライザーが可動いたします。2階部分の車両出入り口(船体左側)も忠実に再現しており、実際に150分の1のトラックが載っています。みなさまには是非本物にご乗船いただければと、心よりお待ちしております。



毎日 19:10発 → 翌 7:30着
 翌 8:40着 ← 月～土 19:10発
 日 18:00発

バイク乗船がセットになったツーリングプランや、
期間限定のお得な割引キャンペーンも実施中です。

詳しくは「宮崎 カーフェリー」で検索

宮崎 カーフェリー 検索

お問い合わせ・ご予約

関西予約センター TEL 078 (321) 3030

公式サイト <https://www.miyazakicarferry.com/>

新船情報 <https://www.miyazakicarferry.com/shinsen/>

